

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

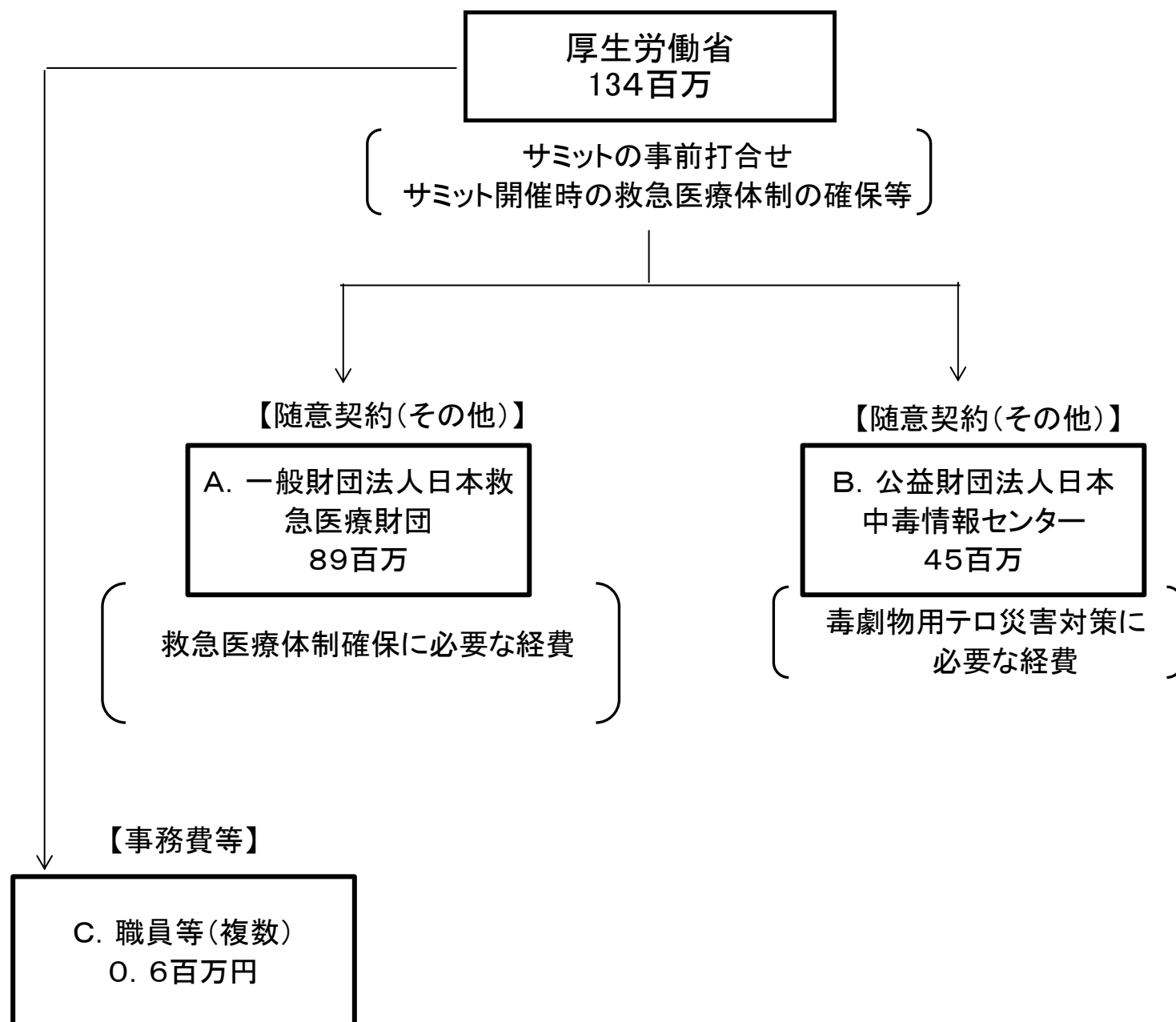
事業名	サミット関連経費			担当部局庁	医政局	作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了 (予定)年度	平成28年度	担当課室	地域医療計画課 救急・周産期医療 等対策室	室長：坂上 祐樹	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	主要国首脳会議(サミット)は国際的な首脳会議の一つであり、その開催については毎年、各国の持ち回り開催となっている。平成28年度は三重県志摩市にある賢島で開催されることとなり、サミットに参加する主要国要人等や毒劇物によるテロ災害等に対する救急医療体制の確保する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	サミット開催地である三重県との事前打合せやサミット開催時の首脳国要人等に対する救急医療体制の確保や毒劇物によるテロ災害対策について体制整備を行う。						
実施方法	直接実施、委託・請負						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	135	0	
		補正予算	-	-	▲0.1		
		前年度から繰越し	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-		
		予備費等	-	-	-		
		計	0	0	134.9	0	0
	執行額	-	-	134.6			
	執行率 (%)	-	-	100%			
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100%				
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由			
	計	0	0				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	各国要人が無事に帰国する。	サミット開催時の各国要人の日本国内での入院件数	成果実績	人	-	-	0	-	-	
			目標値	人	-	-	0	-	-	
			達成度	%	-	-	100	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	各国要人が無事に帰国する。									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	医療チーム	活動実績	箇所	-	-	15	-	-		
		当初見込み	班	-	-	28	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	NBCテロ対応チーム	活動実績	箇所	-	-	2	-	-		
		当初見込み	班	-	-	1	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト=X / Y		単位当たり コスト	百万円	-	-	5.9	-		
	X:執行額 Y:医療チーム配置箇所数		計算式	X/Y	-	-	89百万円/15	-		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト=X / Y		単位当たり コスト	百万円	-	-	22.5	-		
	X:執行額 Y:NBCテロ対応チーム配置箇所数		計算式	X/Y	-	-	45百万円/2	-		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	基本目標 I 安心・信頼してかかる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること 施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること								
		施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標 I-1-1)							
	政策評価	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			-	実績値	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
-										
経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	達成度		%	-	-	-	-	-		
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度	%		-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国 費 投 入 の 必 要 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	サミットは、国際的な首脳会議であり、その会議開催時の主要国の要人等に対する救急医療体制等の確保は、必要不			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	サミット開催時の救急医療体制については、開催地の救急医療体制に加えて、さらに国における支援を行う必要があ			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	サミット開催時の各国要人等に対する救急医療体制の確保であり、優先度の高い事業である。			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	サミット関係の調達について、公正かつ適正な競争を実施するためには、各国の首脳等が救急搬送される受入協力病院の名称・所在地や委託先が確保する必要のある救急医療等の専門知識を有する医師等の人数などを仕様書等に記載し、コストを明確にする必要があるが、このような情報を仕様書等に記載し、一般に公開することは、外交上やテロ対策等の観点からみて、重大な支障を生じさせることから、入札や企画競争を行うことは困難である。そのため、随意契約を行った。			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	契約にあたっては計画書を提出させ精査している			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	計画書を提出させ精査している			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-			
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-				
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は成果目標に見合っている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は、外交上やテロ対策等の観点から極秘情報とされており、詳細な実績の記載は困難であるが、見込みに見合っている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-			
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	サミット医療体制については、外交上やテロ対策等の観点から極秘情報とされており、詳細な活動実績の記載は困難であるが、医療チーム及びNBCテロ対応チームともに十分な体制整備のもと、対応することが出来た。				
	改善の方向性	平成28年度をもって終了。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	△
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新28-002	
平成28年度	新28-002					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

